

取扱説明書（お客様用）

品名 ;住宅用接続箱


形番 ; PJ1H-H103、PJ1H-H104

用途 ; 太陽光発電システム

このたびは、住宅用接続箱をお買い上げいただきまして、まことに有難うございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただいた上で、正しくお使いください。
*この取扱説明書は大切に保管してください。

1、安全にお使いいただくためにお守りください。

- 本住宅用接続箱は、住宅向け太陽光発電システム以外の用途には使用しないでください。
- けがや事故防止のため、以下の事項を必ず守ってください。

 警告	
・ 住宅用接続箱の取付工事や修理または廃棄などは、お買い上げの専門業者に依頼してください。 設置工事に不備があると、感電や火災の恐れがあります。	
・ 住宅用接続箱のカバーは開けないでください。 カバー内部に電圧が高い部分があり、感電の恐れがあります。	
・ 住宅用接続箱の分解や改造をしないでください。 感電や火災の恐れがあります。	
・ 住宅用接続箱の上部に物をのせたり、通風口をふさがないでください。 装置の故障や火災の恐れがあります。	
・ 住宅用接続箱にぶら下がったり、引っ張らないでください。 装置の故障やけが、感電の恐れがあります。	

2、仕様

形番	PJ1H-H103	PJ1H-H104
設置場所	屋内・屋外(軒下壁面取付け(雨線内))	
最大入力電圧	DC300V (負荷の開放時 DC450V)	
入力回路数	3	4
最大入力電流	10A (1回路あたり)	
外形寸法(幅 x 高さ x 奥行)	238 x 273 x 116 (mm)	
質量	2. 1kg	2. 3kg

ご不明な点や修理に関するご相談はお買い上げの販売店や設置いただいたお店、または下記までお問合せください。

お問合せ先: IDEC株式会社 太陽光発電関連機器 御相談窓口

TEL: (03) 5719-5108

受付時間: 9:00 ~ 17:00 (土日祝は除く)

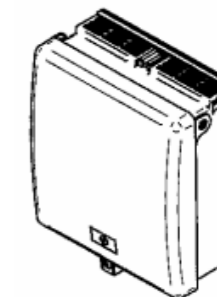
LBL02

施工説明書（販売店・工事店様用）

品名 ;住宅用接続箱

形番 ; PJ1H-H103、PJ1H-H104

用途 ; 太陽光発電システム




この施工説明書を、必ずお読みいただき正しく安全に施工してください。
太陽光発電システムの電気工事は、販売店・工事店様が行ってください。
(第二種電気工事士の資格が必要です。)

施工工事は、電気設備基準、内線規定および本説明書に従ってください。

*住宅用接続箱の取付け施工が終了しましたら、この施工説明書をお客様にお渡しください。

1、安全に施工していただくために

- 感電による死傷、火災、事故等の原因となりますので、次の事項を守ってください。

 警告	
・ 出力電圧が無いことを確認して作業してください。 開閉器を OFF にしてもパワーコンディショナーの電圧が残っています。	
・ 電線の導体や端子を素手で触らない。必要な場合は低圧用ゴム手袋を使用してください。 日中は太陽電池が発電しており、感電の恐れがあります。	
・ 発電運転開始までと電気配線工事中は開閉器を「OFF」の状態にしてください。 事故や故障の原因となります。	
・ 接地工事は、接地端子を使用して確実に行ってください。 感電、火災の原因となります。	
・ 配線工事は極性を間違わないでください。 太陽電池の配線はN(-)、P(+)の極性があります。間違えた場合は機器が破損します。	
・ 次のような場所へは設置しないでください。 周囲温度は-25℃~50℃の範囲外、または24時間の平均温度が40℃以上の場所。 日本国内以外や、標高2000m 以上であるところ。 洗面所や脱衣場など著しく湿度が高いところ。 屋外においては軒下雨線外、または直射日光にさらされる場所。 異常な振動および衝撃を受けるところ。 過度な水蒸気、油蒸気、煙、ほこり、塩分、腐食性物質などが存在するところ。 配線や施工に必要な空間が確保されず、保守点検も容易でないところ。 密閉された空間や夏場に湿度や温度が異常に上昇する場所。	

2、取付け場所の確認と準備

- 屋内または屋外の軒下壁面に設置する構造です、特に屋外の設置は防水処理にご配慮ください。
- 海岸近くの塩害地域では、長期信頼性を確保するため、室内設置をお勧めします。
- 住宅用接続箱の質量は、約2. 3kg(4回路)あります。重さに耐える壁構造であることを確認してください。
強度が不足する場合は補強板で補強してください。補強板は施工者様でご準備してください。
- 配線ケーブルは、圧着工具を用いて適合する圧着端子を正しく取付けてください。

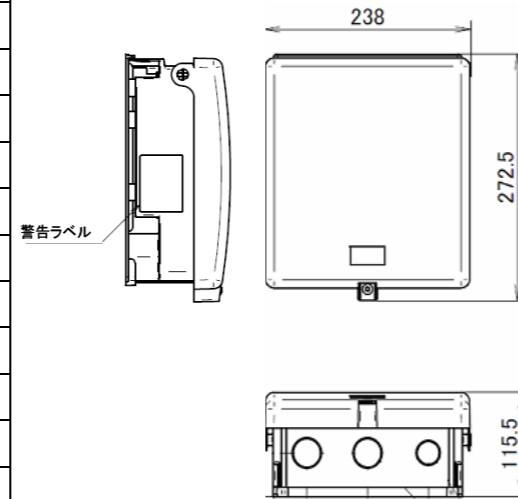
LBL02

3、付属品と外形寸法

■ 開梱時に付属品の確認をしてください。

番号	部品	個数	
		PJ1H-H103	PJ1H-H104
1	接続箱固定ネジ(φ4.1x32、木ネジ)	5	5
2	入力圧着端子(2sq ブレード端子)	6	8
3	入力圧着端子(3.5sq ブレード端子)	6	8
4	出力圧着端子(R5.5-5)	2	2
5	出力圧着端子(R8-5)	2	2
6	アース圧着端子(3.5-R5)	1	1
7	絶縁キャップ(2sq用 赤)	3	4
8	絶縁キャップ(2sq用 青)	3	4
9	絶縁キャップ(3.5sq用 赤)	3	4
10	絶縁キャップ(3.5sq用 青)	3	4
11	絶縁キャップ(5.5sq用 赤)	1	1
12	絶縁キャップ(5.5sq用 青)	1	1
13	絶縁キャップ(8sq用 赤)	1	1
14	絶縁キャップ(8sq用 青)	1	1
15	絶縁キャップ(3.5sq用 緑)	1	1
16	インシュロック(結束バンド)	2	2
17	施工説明書・取扱説明書(本紙)	1	1

● 外形寸法



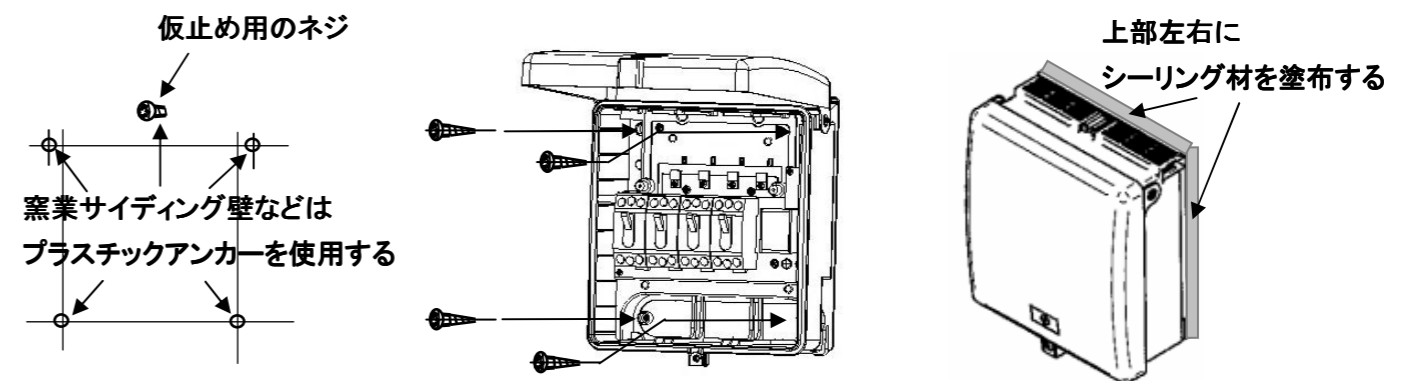
● PF管を使った露出配線の場合

① 事前に開けたロックアウト穴にPF管(接続ターミナル)を取付ける。

● 壁面から入出線する遮蔽配線の場合

① 事前に開けたロックアウト穴にあわせ壁面に引込口を設けケーブルを引き出す。

以下共通



② 仮止め用ネジを使用し、壁面に取付ける。

③ 4本の固定ネジにて、壁面にしっかり固定する。

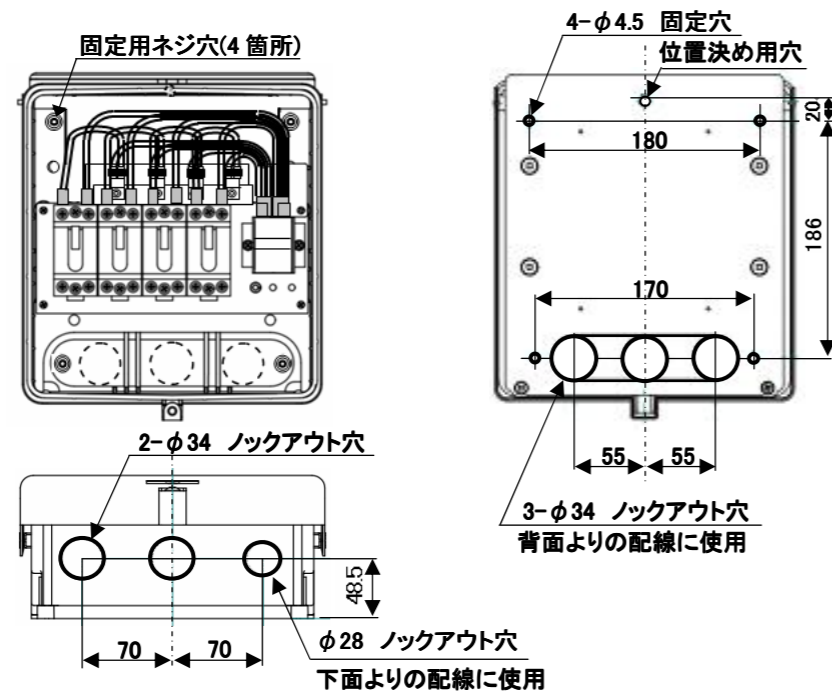
④ 屋外設置の場合は、接続箱と壁面が接する上部左右をシリコンシーリング材で防水処理をする。

⑤ PF管を使用する場合は配線されたPF管を接続しケーブルを接続箱内に引き出す。

5、電気配線工事

■ カバー背面の製品ラベルには、製品仕様と警告・注意事項が記載されています。

● 取付寸法



4、壁面への取付け

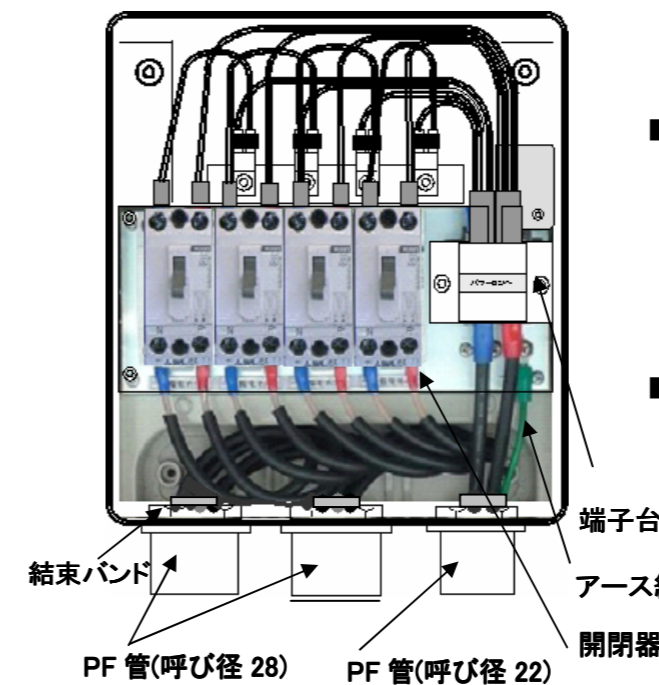
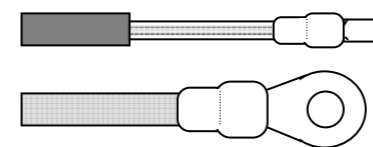
■ 放熱のため、設置場所は周囲50mm以上の空間を確保してください。

■ 屋外に設置する場合は、接続箱背面の防水処理のためシリコンシーリング材をご準備ください。

■ 取付位置を決め、使用するロックアウト穴を開けてください。

ロックアウト穴はマイナスドライバーの先を穴径の凹みに当て、ハンマーでたたいてください。

PVケーブルと圧着端子の加工例



■ 太陽電池アレイの出力ケーブルの接続

① 太陽電池アレイからのケーブルに付属の絶縁キャップおよび入力圧着端子を取付けて、極性を間違えず開閉器に接続する。

② 太陽電池の一極側は絶縁キャップ(青)を使用し開閉器のN側に接続する。+極側は絶縁キャップ(赤)を使用し開閉器のP側に接続する。作業は、系統毎にケーブル1本毎に行う。

<活線の場合、高圧スパークが発生し危険です。>

締付けトルク：1.6±0.2N・m

■ アース線の接続

必要なアース線を用意して、絶縁キャップと圧着端子を取付け、アース端子に接続する。

アースはD種(旧第3種)接地工事を行ってください。

締付けトルク：2.0±0.2N・m

■ パワーコンディショナーへの接続

① 事前に、電流容量に合ったサイズ(5.5sqまたは8sq)のPVケーブルを用意して、パワーコンディショナーから入線させる。

② 絶縁キャップと圧着端子を取付けて、極性を間違えず出力端子台に接続する。

<-極側は絶縁キャップ(青)を使用し端子台のN側に接続する。+極側は絶縁キャップ(赤)を使用し端子台のP側に接続する。>

締付けトルク：2.0±0.2N・m

※ ケーブル接続部へは荷重が掛からないようケース内部でケーブルにゆとりを持たせ結束バンドでまとめてください。

※ 配線後、端子台に圧着端子が密着しており、力を加えても端子が動かないことを確認してください。